

「HIV検査相談研修」に参加して ～HIV検査の説明と結果の告知そしてカウンセリング～

旭川市保健所 健康推進課 保健予防係 松浦 香織

昨年8月に東京で開催された公益財団法人エイズ予防財団主催の研修に出席しましたので、学んできたことについて御報告させていただきます。

エイズは、治療の進歩により慢性疾患となりつつありますが、いまだに偏見が強く、社会的な理解が低い疾患であるため、感染不安のある方や感染者にとっては周囲に相談・受診しやすい環境が整っていないのが現状です。

現在、HIV検査を受けている方は、自発的に検査を申し込まれる方や医療機関で手術前の方などです。その他、どういう方に検査を勧めるかということですが、制度上は「コンドーム不使用が推定されHIV感染の可能性を認めた場合も保険算定が可能」とされており、実際に検査を受けている方より広い範囲の方々に検査を勧めることができます（平成24年3月5日付け保医発0305第1号）。特にクラミジアや梅毒等の他の性感染症を診断された方や、男性同性愛者であることを申し出られた方等は、HIV感染のリスクが高い可能性があり、医師から積極的に検査を勧めていく必要があるとされ、意外にも、検査で感染がわかった方の多くが検査を勧めてくれた医療者に感謝しているとの実情が明らかされました。

保健所のHIV検査相談事業におけるHIV検査の対象者は、自発的に検査を申し込まれた方達ですが、検査前後の説明では、対象者が安心して検査を受け、そして、結果が判明した後に困らないよう、丁寧な対応を心がけることが求められます。

まず、検査前の説明では、対象者のHIVの感染ということについての知識を確認し（抗体の検査であること、陽性＝エイズではないこと、症状からはHIV感染の有無は判断できないこと等）、検査を受けることのメリット（早期発見により早期治療の開始が可能であること）を伝えます。そして、陽性であってもプライバシーは守られること、専門医療機関を必ず受診してほしいことを伝え、対象者が納得して検査を受けることができるようにします。

検査後は、検査の結果が「陰性」であった場合は、その後も感染せずに陰性を維持することが重要なので予防的な行動や習慣及び、感染予防の必要性を認識してもらいます。予防方法については、自分にもできそうだと思うってもらう方法を一緒に考えることが大切です。万一、検査の結果が「陽性」であった場合、患者心理としては否定したい気持ちが強いので、対象者が納得できる方法をゆっくり考えます。そして、この検査だけでは病状自体はわからないこと、現在は有効な治療があることを説明し、必ず専門医療機関を受診するよう勧めます。一緒に協力し、今後も何かあれば相談に乗るといった姿勢が大切です。

旭川市保健所では、平成16年度から迅速検査を取り入れており、採血後1時間以内に結果をお知らせします。HIV検査や相談を実施する上で、私達は、限られた時間の中で日々対象者の心に寄り添うことを心がけていますが、カウンセリングとは、答えがない問題を話し合うことです。答えがあっても、その答えを呑めない時は、話し合いをします。対象者の心のどこかにある解決方法を一緒に探すことが、カウンセリングであるということを知り、今回の研修を通して学びました。聴くこと（傾聴）、相手の身になること（共感）、安全の確保（プライバシーの保護）、正直さ（自己一致）、整理（解釈）、といったカウンセリングの基本を忘れることなく、今後も事業に取り組んでいきたいと思えます。

「平成27年度 北海道ブロックエイズ治療拠点病院（北海道大学病院）HIV/AIDS出張研修」のお知らせ

北海道大学病院の担当者が、医療機関、福祉施設等に出向いて、HIV感染症に関する基礎知識、感染対策、感染者のケア等についての情報提供を目的とした研修会を開催します。

実施期間：平成27年5月～平成27年11月

研修費用：無料

その他：職種毎の少人数の研修も可能

申し込み：研修希望日の2か月前まで（申し込み多数の場合はその時点で締め切ります）

北海道大学病院HIV相談室 TEL011-706-7025

※詳細は旭川市保健所健康推進課ホームページに掲載していますので御参照ください。

様々なニーズに合わせた保健所のHIV検査

毎年、200名程の方に受けていただいています

「プライバシーに最大限配慮された場所で検査を受けたい。」
「相談したいことや、聞いてみたいことがある。」

→保健所の検査がお勧めです。平日（午前・午後・夜間）、休日各1回の月4回開催しています。30分毎の完全予約制です。他に検査に来られた方と顔を合わせる可能性はありますが、待合スペースは一人ずつ仕切られ、採血・相談、結果説明は個室で行います。

今年度からこれらの検査日のうち、平日午後の日程を公開しています。『あらかじめ日時を知って予定を立ててから検査を受けたい』という方は、旭川市保健所健康推進課保健予防係ホームページをご覧ください。それ以外の日程については、引き続きお電話でお問い合わせください。

「予約をせず、気軽に検査を受けたい。」
「買い物など、外出のついでに検査を受けてみたい。」

→予約不要で検査ができる日を年2回設けています。

- ① 検査普及週間（6/1～7）頃に実施する「保健所」での検査
- ② 世界エイズデー（12/1）頃に実施する「保健所外（26年度はフィールド旭川で開催）」での検査

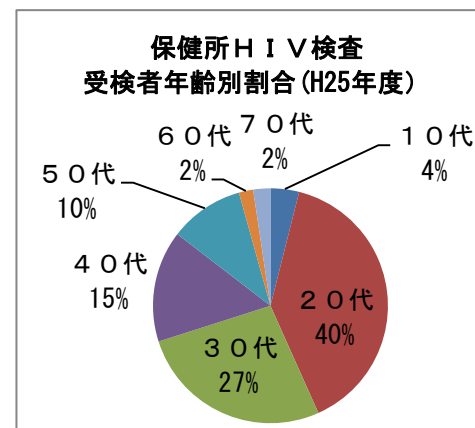
待合スペースでは他に検査に来られた方と顔を合わせることもありますが、結果説明は個室で行いますので、安心して検査を受けられます。

それぞれの日時等の詳細は、検査日が近くなりましたら、市民広報や保健所ホームページに掲載します。

検査は感染が心配な機会から3か月経ってから！



～様々な年代の方が利用されています～



平成26年度思春期性感染症予防講演会の御報告

旭川市保健所では、思春期の性教育に関わる機関の連携と情報の共有を目的に毎年思春期性感染症予防講演会を開催しています。今年度は平成26年12月19日（金）に旭川市障害者福祉センターおびつたで開催し、学校関係者等25名が参加されました。

今回はNPO法人レッドリボンさっぽろ 沼田栗実氏、生田多賀子氏の両名をお招きし、「高校での講演活動を通して見えてきたこと」テーマに実際に高校等で実施しているエイズ・性感染症予防のお話をいただきました。

講演の前半は講義形式となっており、エイズや性感染症の現状や基礎知識、感染のリスクがある行為やセクシヤリティなどについてクイズや具体的な事例などを交えながら詳しく話されておりました。

講演の後半は、参加型となっており、模型を用いたコンドームの装着体験や参加者が数グループに分かれワークショップを行いました。

コンドームの装着体験では参加者の方々は苦戦しながら模型に装着しており、講師からはコンドームの知識だけではなく、事前の練習が必要であることも伝えていくことが必要であると話されておりました。

また、ワークショップでは“こんな時どうする。あなたならどんなアドバイスをしますか？”をテーマに、「恋人がコンドームを付けてくれない」、「彼女がコンドームを使わなくていいと言う」、「同性が好きと相談してきた」の3つの事例について各グループで話し合われました。

各グループからは、「素直に自分の思いをぶつけてみる」、「コンドームは避妊だけではなく性感染症の予防にもなる」、「自分がコンドームを持ち歩いてみる」など様々な意見が出されておりました。

HIV/AIDSをとりまく問題として、近年、国民全体の関心・意識が低下していますが、一方で、先の述べたように新規HIV/AIDS患者は過去最多の報告という現状となっています。

この問題に対し、HIV/AIDSは続いており、正しい知識の普及啓発を継続していくことが、感染拡大の防止につながるとともに、HIV/AIDS患者への差別や偏見をなくし、地域で暮らしやすくなることにつながると話されておりました。



表紙「☆Quiz! ☆」の答え

正解は「保健所等におけるHIV抗体検査件数」でした。

HIV抗体検査の受検者数は、平成20年をピークに減少し、ここ近年は横ばいの状況となっております。

しかし、検査者数は減少していますが、HIV/AIDSの報告者数は減少していません。このことからHIVの感染者は増加傾向にあると考えられます。

現在はHIVの治療も進歩しており、適切な治療を受けることで長期に渡りAIDSの発症を抑えることができる時代ですが、いまだ感染していることに気付かずに生活されている方が多数存在していると言われております。

自身とパートナーの健康を守るためにも検査を受けることは重要です。

保健事業のご紹介

詳細については、担当係までお気軽にお問い合わせください！

エイズ性感染症出前講座

最新の性感染症のデータをそろえ、現状を伝えると共に身近なものと感じられるよう中学、高校、各種専門学校、大学の学生を対象に、エイズ・性感染症予防について、保健所保健師などが出前講座を行います。

エイズ・STD予防に関するDVD・パネル等の貸し出し

HIV/AIDS予防に関するDVD、パネル、健康教育用具の無料貸し出しを行っています。

HIV迅速抗体検査

無料・匿名・結果は即日30分
HIV検査を月に4～5回実施しています。月1回は休日・夜間にも実施しています。完全予約制で、予約はエイズ相談電話で受け付けています。

エイズ専用相談電話

エイズ・性感染症、その他性に関する相談を受け付けています。

エイズ専用相談電話
TEL 26-8120
受付時間：平日 8:45～17:15

○本誌に関するご意見、ご要望、お問い合わせは、下記連絡先まで。

旭川市保健所 健康推進課 保健予防係 TEL25-9848 (直通) FAX26-7733
ホームページ
HP: <http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/files/kenkousuisin/yobou/yoboutop.htm#4>

生と性を考えよう！通信

第12号 平成27年3月

旭川市保健所 健康推進課保健予防係

第12号は・・・

いま改めてHIV/AIDSについて考える

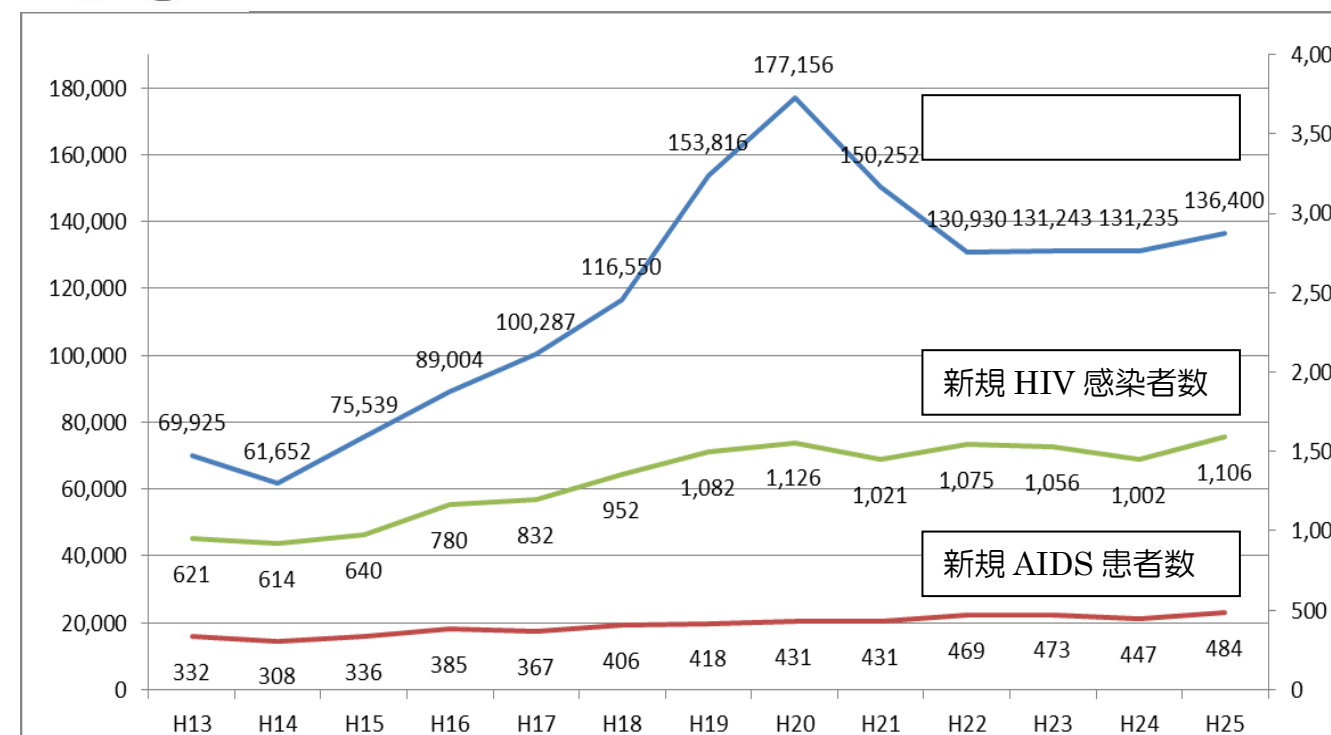
です。

☆ Quiz! ☆



HIV/AIDSの統計に関する問題です。

下のグラフの空欄にあてはまるものはみなさん、わかりますか？



※ 厚生労働省エイズ動向委員会「平成25年エイズ発生動向年報」

正解は、4ページをご覧ください・・・。